

みらいのいこま

みんなで紡ぐ、
住まいと暮らしのストーリー

この本が伝えたいこと

「いこまのまち」は暮らしやすいですか？

生駒市は、緑や自然が身近にあり、安全で教育環境が良く、通勤などの利便性にも優れた暮らし心地の良いまちです。それは、昔からある自然やまちを大切にしながら、豊かで便利な暮らしができるまちを計画的につくってきたからです。

しかし、今、全国的に人口が減り始めています。生駒市でも、今後本格的に人口が減り始め、近い将来まちに大きな影響がでてきます。例えば、お客さんが減り、お店が少なくなることによるまちの賑わいの低下、空き家が増えることによる、まちの治安の悪化など・・・。

さらには、価値観の多様化・IT技術の発達により、移動や買い物などの日常生活や働き方も変化していきます。

そのような時代を迎える時だからこそ、これから先も、豊かに楽しく暮らし続けていくため、今あるものを大切にしながら、**「みらいのいこま」**を創っていく必要があります。



「いこまのまち」には、様々な暮らしがあります。

例えば、

一歩外に出ると、色々なお店があり、電車にすぐ乗れる都会的な暮らし
学校や公園、自然が近く、安全・安心、ほどよく便利な郊外の暮らし
豊かな緑、澄んだ空気、いきものの気配など、自然に囲まれたゆとりある暮らし
など・・・

「みらいのいこま」では、

今ある暮らしを基本にしながら、
これからの暮らしを少し豊かにできるまち、
そうした「未来のまちの姿と暮らしのイメージ」を
5つのストーリーとして描いてみました。

「みらいのいこま」を共有し、
まちに関わる多くの人と、
住まいと暮らしのストーリーを
紡いでいきませんか？



読み方の解説

まちで暮らす人、まちに関わる事業者や行政の
声をイラストとともに示すことで
それぞれのまちとの関わり方を表しています。



市民

皆がもっと楽しめる
まちにしたいね



事業者

私たちのノウハウを
まちづくりに
活かしていきます



行政

まちの
にぎわいづくり
を考えています

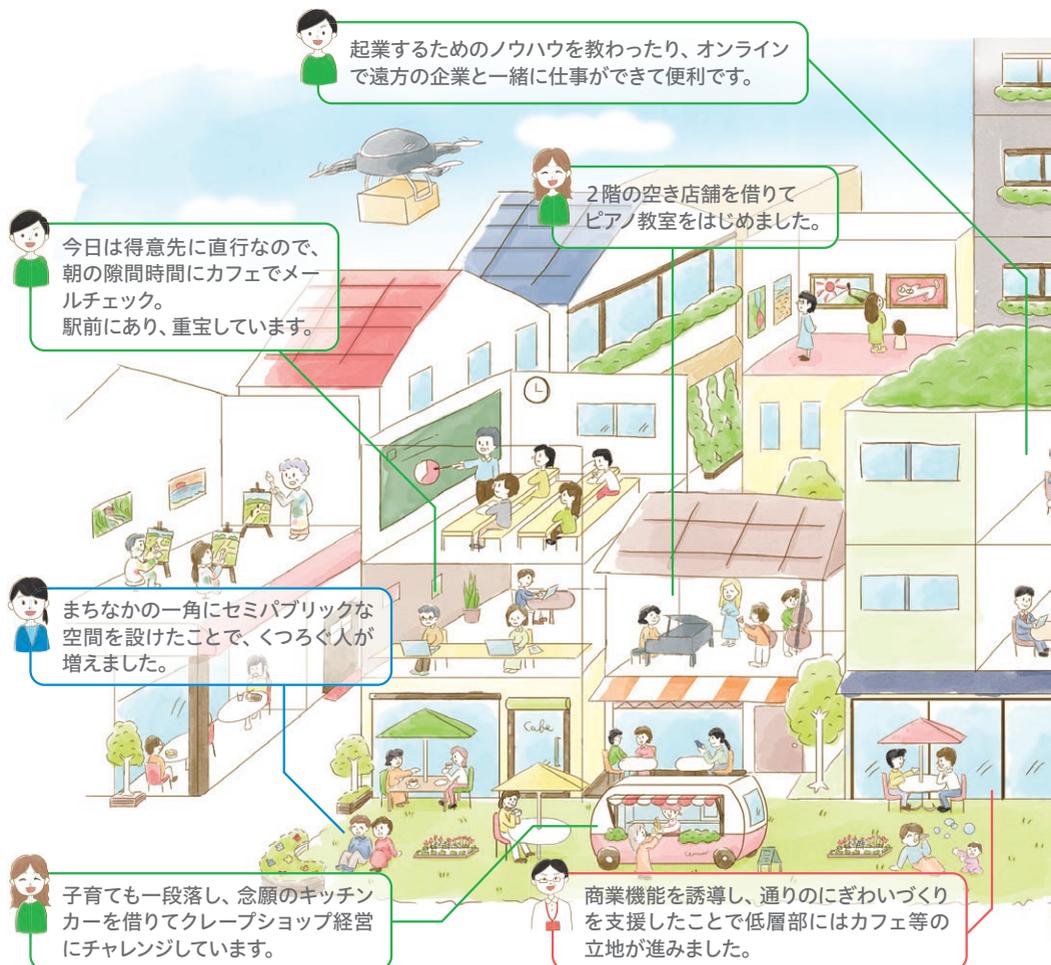
郊外や市外から駅近マンションに移り住んできた子育て層や高齢者が
便利でワクワクするまちなかライフを堪能しています。

まちのあちらこちらにコワーキングスペース[※]やカフェがあり、
多様な職種の人たちの交流が生まれています。

歩いて楽しむことができるまちなか、ほっと一息つける憩いの空間、
新たなチャレンジができる場所で、多くの笑顔があふれ、にぎわっています。

#駅近#ウォークアブル#まちなか居住#住み替え#にぎわい#サードプレイス#新しい働き方

※コワーキングスペース:机・椅子・ネットワーク設備などの実務環境を共有しながら仕事を行う場所。



まちの姿と暮らしを彩る活動・取組の事例



プラレール広場

生駒駅前ベルステージを利用して開催している親子で楽しめるプラレール広場。子育て層の交流の場になっています。



イコマド

様々な働き方、ワーク・ライフ・バランスの実現をサポートする拠点。起業や新たなビジネスマッチングを応援しています。



駅近での賃貸マンションの整備が市の支援策により進みました。若い世代の転入や高齢者の郊外からの住み替えなどが増え、住まいの循環が進みつつあります。

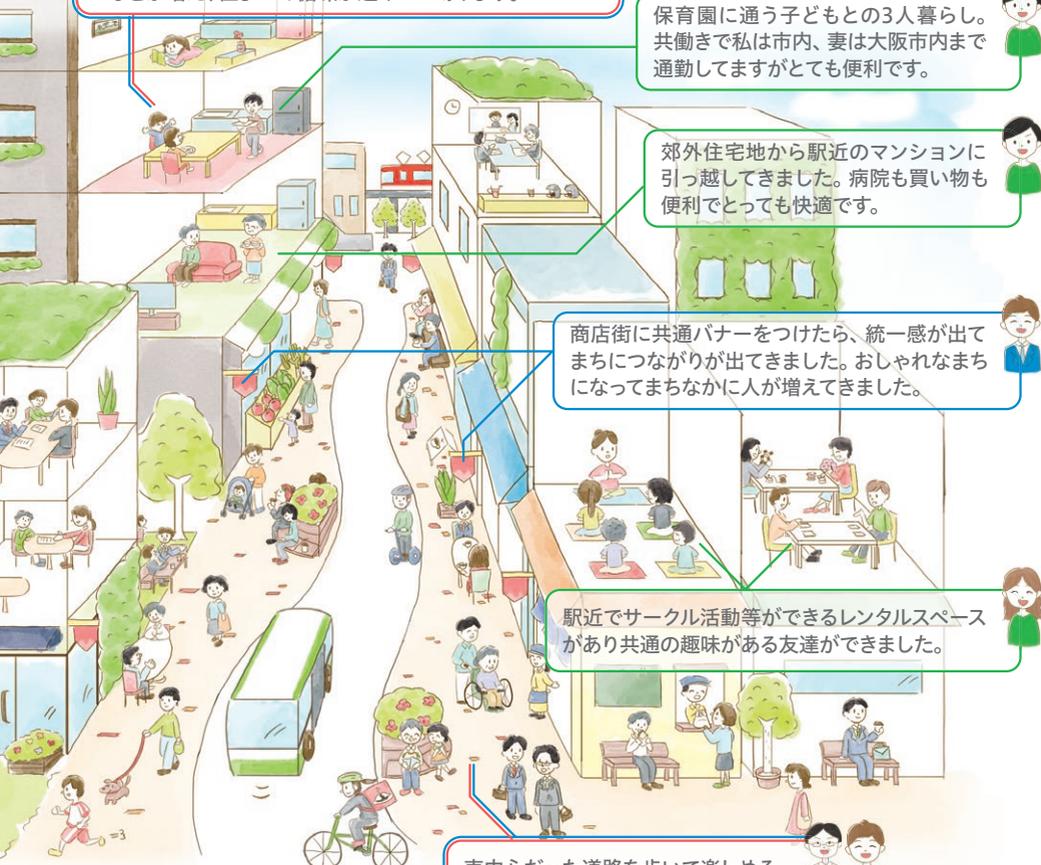
保育園に通う子どもとの3人暮らし。共働きで私は市内、妻は大阪市内まで通勤していますがとても便利です。

郊外住宅地から駅近のマンションに引っ越してきました。病院も買い物も便利でとても快適です。

商店街に共通バナーをついたら、統一感が出てまちにつながりが出てきました。おしゃれなまちになってまちなかに人が増えてきました。

駅近でサークル活動等ができるレンタルスペースがあり共通の趣味がある友達ができました。

車中心だった道路を歩いて楽しめるウォークアブルな空間に再編しました。



週末の朝は地元の農家が主催するマルシェで新鮮な野菜が手に入り、自ら土いじりをしたい人は近所の畑を借りて野菜づくりも可能です。野菜づくりの後は、お父さんは、子どもと近所のスーパーにお買い物。その間、お母さんは近所の古民家カフェでコーヒーブレイク。窓から見える生駒の山並みを見ながら、偶然居合わせたご近所さんと楽しいおしゃべり。リノベーション^{*}した自分の家のように、まちを使いこなし／住みこなしている人がたくさんいます。

#旧市街地#市民農園#農家カフェ#空き家活用#リノベーション

※リノベーション:建物を改修し、用途や機能を変更して性能を向上させたり付加価値を与えたりすること。



地元でとれた野菜を持ち寄ってマルシェを開催。毎週土曜日が楽しみです。新鮮な野菜を地域の人に食べてもらえて嬉しいです。この後、地域の美味しいお店で打ち上げです。



近くに保育園があるのでとっても便利。今から歩いて仕事に向かいます。



地域みんなで協力して空き家を改修して交流スペースをつくりました。地域住民の憩いの場になっています。



働く場やお店が近くにあって便利だね。

まちの姿と暮らしを彩る活動・取組の事例



中古物件を リノベーション・DIY

住まい手と建築士の協働によるリノベーション。仲間とともに自分らしい住まいづくりに取り組んでいる人たちがいます。



いこま空き家流通 促進プラットフォーム

不動産や建築など不動産流通に関わる専門家からなるプラットフォームを設立し、空き家問題に取り組んでいます。

地元の野菜をふんだんに活かした料理を提供するレストラン。地元農家と契約して野菜をおろしてもらっています。



古民家をリノベーションしたカフェ。実は市内で2店舗目のオープン。近くの方がよく来てくれます。



公民連携の空き家対策により、空き家を新たな所有者につなぐことができました。地域のにぎわいにもつながり、とても良いですね。



シェアリングエコノミーの考え方が浸透して、カーシェアやレンタサイクルの利用者も増えています。

まちなかの農地を守る制度の活用によって、みどり豊かな住環境を維持しています。

昔から月に1度はお参りしています。テレワークで空いた時間で周辺のお掃除をはじめました。



閑静で教育環境も整ったベッドタウンも今は豊かな暮らしの場として変化しつつあります。最近、自宅やセンター地区にできたコワーキングスペースで仕事ができるようになり、通勤に使っていた時間は子どもたちと楽しむ時間に使う人が増えました。

交流施設では様々な世代のコミュニティも生まれつつあり、新規転入者もすぐに顔見知りができる環境が整っています。

暮らしのバリエーションが広がり、みんなの居場所が増えています。

#戸建住宅地#職住合一#職住近接#センター地区#空き家活用#サードプレイス



センター地区にコワーキングスペースや交流スペースを作ったことで、以前に比べて働き盛りの世代の人達がまちに増えた気がしますね。



規制を緩和し、公園や道路を柔軟に使えるようにしました。みなさんのクリエイティブな使い方を期待しています。



隣の空き地を購入して畑をはじめました。大好物の野菜を育てています。収穫が楽しみです。



庭先でリモートワークをしながら、子守中。近所でもこんな光景が増えてきたね。



自治会の協力をうけ、地元の有志でマルシェを定期的開催しています。地域の交流の場になっています。

まちの姿と暮らしを彩る活動・取組の事例



Zazie canelé (ザジ カヌレ)

自宅の一部をリノベーションして焼菓子のお店をオープン。住み慣れた場所で新たな一歩を踏み出しています。



あすか野deマルシェ (あすか野ミライ会議)

あすか野での地域づくりの取組のひとつ。シャッターの閉まった商店街でマルシェを開き、まちに賑わいを取り戻します。

最近、若い家族が増えてきたね。公園に来るといつも子ども達の笑い声が聞こえて楽しい気持ちになります。

地域と相談して、地区計画を見直し、戸建て住宅地にもカフェ等の立地が可能になりました。

空き家をリノベーションして、若い夫婦に貸しています。1階でカフェを始めたようで、地域の茶話会の場として人気のようです。

テレワークで空いた時間で地域貢献。紙芝居のおじさんとして子ども達の人気者になっちゃいました。

交流スペースで知り合いが増え、以前に比べてあいさつする人が増えました。地域のつながりが感じられ、とても暮らしやすいです。

中古住宅を購入してリノベーション。庭を大好きな花でいっぱいになりました。いつもたくさんの人が季節の花を楽しんでくれています。

高齢者等の交通弱者を対象に移動サービスの提供を始めました。多くの方にご利用いただいています。

緑あふれる里山、竹林、田畑が広がり、四季折々のシーンを肌で感じる暮らしができます。定年退職を契機に代々受け継がれてきた古民家を活用し、農業体験のできる民泊（農泊）を始めたご夫婦は生き生き。観光ボランティアとして地域の歴史や文化を伝える活動をしている人もいます。最近では、都会で暮らしていたファミリー世帯の転入もちらほらと見受けられ、あちらこちらで子どもの笑い声が聞こえます。ここには都会とは異なる、ゆったりとした時間が流れています。

#田園集落地#スローライフ#田舎暮らし#古民家#農泊#農家レストラン#神社仏閣



豊かな自然、農地、文化財など地域を特徴づける資源の保全を図り、ゆるやかな観光の資源としての活用に取り組んでいます。



農家レストラン経営のため古民家を購入してリノベーション。都会から美味しいごはんと美しい景色を求めて多くの方が利用してくれています。



地元の観光ボランティアとして地域の歴史や文化を大切に伝えていきます。



夫の定年退職を契機に自宅を農泊用に改装しました。たくさんの人との出会いがとっても楽しいです。



家族で市内から週末だけ畑作業に訪れています。土に触れることで心身ともにリフレッシュできますね。

まちの姿と暮らしを彩る活動・取組の事例



古民家での暮らし

まちなかのマンションから風情ある古民家に移り住み、自分たちが求めていた理想の暮らしを満喫しています。



高山こもれび市

高山地区で開催される本格手作り市。作り手の想いが使い手のぬくもりへとつながる、そんなふれあいの場になっています。

子ども達が里山体験に来てくれました。竹細工のおもちゃを作ってあげたら大喜びです。

テレワークが進んだおかげで息子家族が帰ってきました。毎日にぎやかで楽しいです。

田舎暮らしに憧れて都会から移住。自然の中での暮らしを満喫しています。

新規就農者の確保を通じて、遊休農地対策に取り組んでいます。

古民家をリノベーション。借り手は若い女性。雑貨販売やカフェのほか、観光ガイドの受付をするなど、観光拠点としても役立っています。

米作り体験って楽しい。将来はこんな場所に住みたいね。

地元の農家や移住してきた作家によるマルシェ。徐々に認知度が高まり、地域の交流・魅力発信・伝統技術の普及の場になりつつあります。

誰もが科学技術の恩恵をうける世の中ですが、ここでの暮らしは、特に顕著に感じられます。例えば、世に出る前の科学技術や製品を実験的に利用でき、近未来的な暮らしが体験できます。

また、企業や研究所の取組みが進み、新しい交通システム (MaaS) の利用やICT技術を活かして自分の健康状態が常に把握できる住宅など、暮らしの利便性は高まる一方で。暮らしと研究が一体となった居住モデルが創出されています。

#スマートシティ#スマートホーム#スマートライフ#職住近接#近未来的な暮らし



内陸部で災害に強い立地を活かし、研究開発機能や産業機能の拠点形成に取り組んでいます。



このまちの暮らしを支える様々な最先端技術を日々、研究しています。豊かな暮らしに貢献できるよう頑張ります。



ドローンによる宅配サービス。このまちでは当たり前の光景です。



先端技術を実装したスマートハウスを整備しました。エネルギーやセキュリティ、健康管理など様々な分野で最先端のサービスが享受できます。

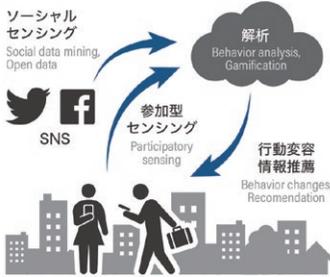


ICT技術の進展で、まちのなかでは自動運転も可能に。前との車間距離も取りながら、車線からはみ出すことなく、私たちの移動をサポートしてくれています。



家の中でもスマートデバイスで健康管理をサポート。異変があればすぐに医療機関に連絡がいくので安心です。また私たちのデータがフィードバックされることで暮らしの向上につながります。

まちの姿と暮らしを彩る活動・取組の事例



ICT等を活用した最先端のスマートシティ

研究機関・事業者・市などが、それぞれの強みを活かし、地域通信網を活用した地域課題の解決や、住みやすいまちの実現に向けた住民中心のスマートシティサービスの共同研究、市内実証に取り組んでいます。

新技術を活かした住まいや暮らしのアップデートを図るため、産官学の多様な人材や組織の交流を支援しています。

研究機関と連携したスマート農業の導入のほか、6次産業化による農業の高付加価値化に取り組んでいます。

この地区では水素自動車一般的なので、水素ステーションも完備しています。

地区内であれば、自動配達ロボットがいつでも荷物を運んでくれるんですよ。

誰もが気軽に電気自動車をシェアできて、とても便利です。

ちょっとした移動はパーソナルモビリティが基本。小回りがきくので快適です。

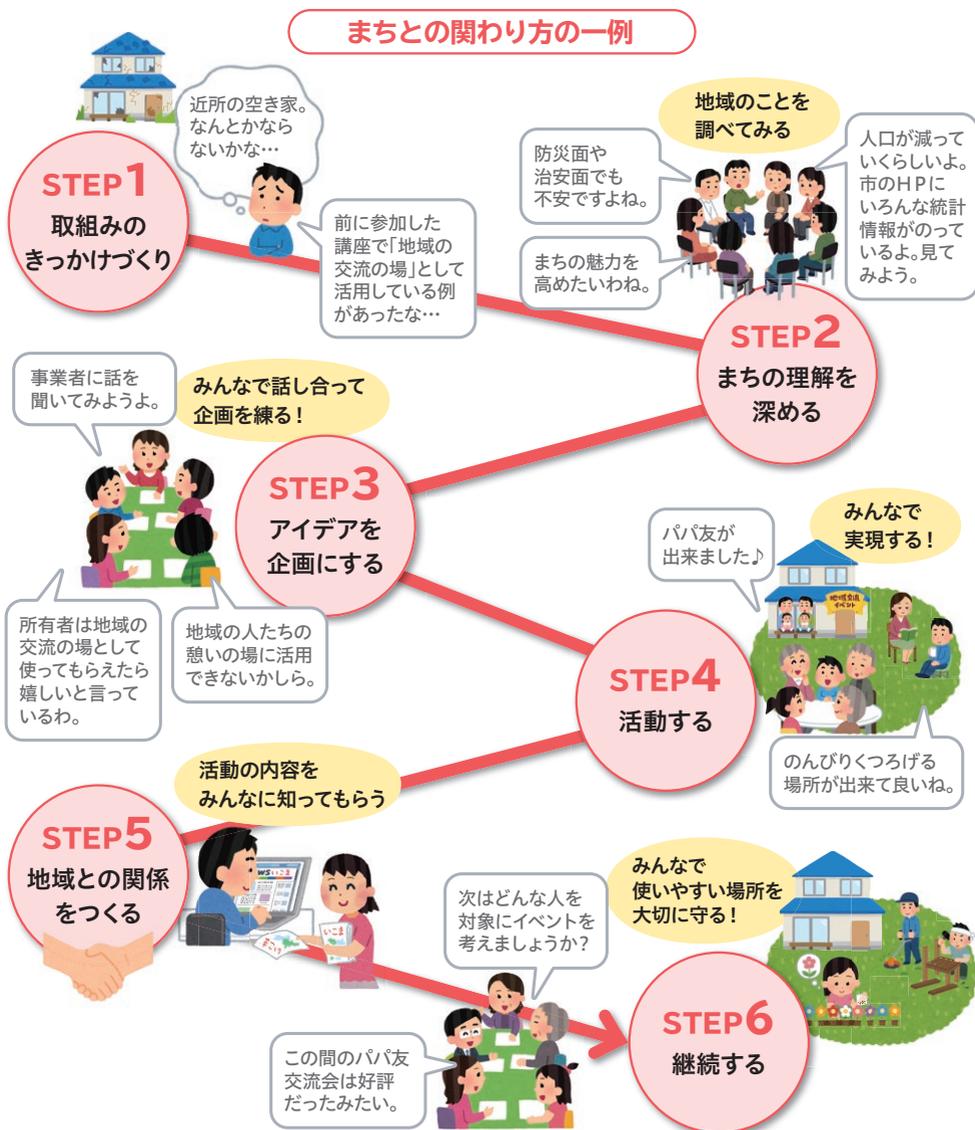
研究機関の成果が発揮できるものづくり産業施設です。自動化が進んでいますが雇用の場としても機能しています。

ウェアラブル端末を着用し、VRにより自分のバイタルデータを逐一、確認しながらジョギングできます。

まちとの関わり方

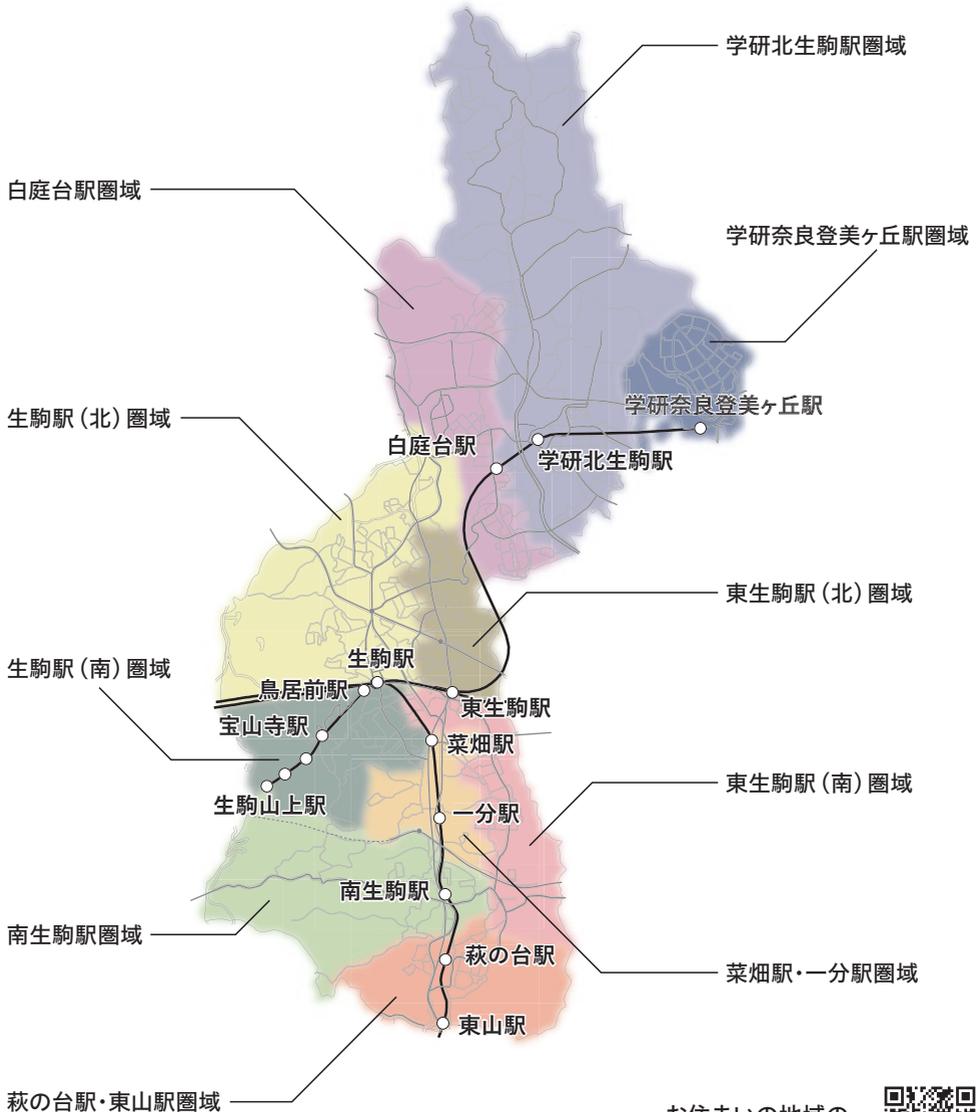
この本で描く「未来のまちの姿と暮らしのイメージ」の実現には、日々の暮らしを「もっと楽しく」「もっと豊かに」と考える人たちが、今より少しまちと親密になり、どんな小さなことでも何かを始めることが大切です。ここでは、まちとの関わり方をひとつ例示しました。あなたのまちで何かを始めてみませんか？

まちとの関わり方の一例



お住まいの地域の情報

みなさんが日常生活で利用する鉄道駅などを中心に、生駒市を10の圏域に分け、地域の歴史や資源など様々な情報を整理しました。今まで知らなかった地域の情報を見つけてみてください。



お住まいの地域の
情報はこちら →





この本は、都市計画マスタープランで描く生駒市が目指すまちの姿や暮らしのイメージをみなさんと共有するために作成したものです。

『**生駒市都市計画マスタープラン**』は本市のホームページで公開しています。



都市計画マスタープランとは

都市計画法に規定されている「都市計画に関する基本的な方針」として定めるもので、まちの将来像や目指すべき方向性、まちづくりの方針や取組などについての考え方を示すものです。

みらいのいこま みんなで紡ぐ、住まいと暮らしのストーリー

■発行：生駒市都市計画課 令和3年11月